



## 校長室より



令和5年10月24日

No.14

児童生徒のチャレンジは無性に応援したくなりますよね。校内では、文化祭に向けてダンスやバンドなどの練習にも熱が入ってきました。

10月17日（火）は、一学部（入院生）高等部3年の生徒が、日帰りで白浜アドベンチャーワールドに修学旅行に行ってきました。これまで美浜町から出る機会がなかったので、学校生活の中でも最大のチャレンジとなりました。福祉タクシーでアドベンチャーに到着すると、イルカショー、ケニア号、動物たちを見て回りました。最高の思い出となる経験をしてほしいという全校の応援を受け、無事に終わることができました。これで今年度の全修学旅行が終わりましたが、生徒一人一人、かけがえのない体験ができたと思います。

同17日には、和歌山市のホテルアバロームで第25回のロハスフェアが開催されました。本校からも、二学部の生徒たちがものづくりで作成した作品を展示・販売しました。高等部から生徒3名が現地で接客を務めました。午後からは中学部生徒もリモートで接客販売体験を行い、いらっしやいませの声かけや缶バッジ作品についての質問に対して、しっかり答えていましたね。今回は、テレプレゼンスロボットの「KUBI」が不調で、急遽Zoomでのリモート対応となりましたが、次の機会では、みはま支援学校の新技を披露してもらいたいと思っています。



23日（月）から一週間本校では公開授業週間が始まりました。午後の二学部（通学生）小学部の教室を見に行くと、リモートで居住地校交流を行っていました。来月開催される「きのくにロボットフェスティバル予選会」にお互いに出場することもあり、練習試合をしたり、お互いのロボットのお披露目と質問交換をしたりして共同学習を行っていました。同世代の仲間と話ができ、とても嬉しそうでしたね。微笑ましい授業場面を見せてもらいました。両校ともに、予選会での活躍を期待しています。

